

## 2024年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生（個人および団体）を、大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

### 【個人】

氏名	所属	表彰内容・理由
阿部 桃子	管理栄養学科 4年	スポーツクライミングの日本代表に選出され多くの世界大会に出場した。 在学中の主な成績：2021年6月 IFSC クライミングワールドカップ ヴィラール（スイス）4位、 2021年9月 IFSC クライミング世界選手権（ロシア）10位、2022年7月 第11回ワールドゲームズ バーミングハム（アメリカ）7位 現在は学業に専念しており、休日はパラクライミングのジャッジ等の大会運営や YouTube ライブ配信による大会解説も行っている。

### 【団体】

団体名（所属学科）	表彰内容・理由
2024年度 相模女子大学中央執行委員会 (英語文化コミュニケーション学科・メディア情報学科・社会マネジメント学科・食物栄養学科)	今年度は①ドッヂビー大会（6月）、②夏休みの川越バスツアー（9月）、③ランチフェス（11月）、④ディズニーテーブルマナー講座（2月）を企画運営し、その他にも新入生歓迎会や卒業記念品の計画等、学生の交流推進や地域との関係強化に努めた。学生同士の繋がりが深まることでキャンパスが活気づき、また、地域の方々との関係の深まりは、地元に愛される学園イメージの形成に大いに寄与した。
復興支援学生ボランティア委員会 (英語文化コミュニケーション学科・メディア情報学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科)	岩手県大船渡市の特産品や観光資源をSNSで発信し、投稿したリール動画は4万回以上再生され、多くの注目を集めた。また、大船渡市の菓匠「高瀬」とコラボレーションし、相模原市と大船渡市の名産を使ったスイーツを開発し、「相生祭」や相模原市民向けのイベント「まちづくりフェスタ」で販売した。さらに、「椿の学校」という教育プログラムを開発し、大船渡市内の保育園や本学幼稚部にて、震災や大船渡市の魅力について伝える活動を行った。これらの活動の様子は、『FMさがみ』等複数メディアに取り上げられた。
健康栄養学科 有志学生	「栄養士を目指す学生が考えたリウマチ患者さんのための楽チン♪レシピ」 リウマチ患者の食をサポートするため、専門医の講義や文献等で疾患や患者の生活の困りごとについて学び、缶詰・乾物やカット野菜を利用して下処理を減らす、電子レンジを利用する等、簡単に作れるレシピを考案した。レシピは、リウマチ薬のメーカーであるあゆみ製薬のホームページに掲載され、全国の多くの患者に紹介されている。 【参考】 <a href="https://www.ayumi-pharma.com/ja/healthcare/rheumatism/recipe/">https://www.ayumi-pharma.com/ja/healthcare/rheumatism/recipe/</a>
「相模女子大学グリーンホール記念ロゴ」 デザインチーム (メディア情報学科)	35周年を迎えるグリーンホール相模大野（相模女子大学グリーンホール・相模大野図書館・南メディカルセンター）を記念するロゴデザインを30点提案し、最終的に、「発信」「成長」の意味合いを込め、「舞台」と「音量調節のボリューム」をイメージし、緑と紫のボーダーラインで表現したロゴが選定された。35周年記念ロゴマークは多くの方に認知され高く評価された。

団体名（所属学科）	表彰内容・理由
<b>「Hammin (ハミン)」</b> (生活デザイン学科)	全ての工程を学生が担当し、2024年度入学式にてファッショショーンショーを開催した。コンセプトは「一歩踏み出すきもち」。たんぽぽをモチーフにした衣装で新入生を歓迎し、新入生の学ぶ意欲に強い影響をもたらした。また、本イベントの残生地を利用したオープンキャンパス学科企画でのイヤリング制作と前述の衣装展示も行い、来場者が間近で衣装を見学できるようにした。さらに、テレビ神奈川の「あっぱれ！KANAGAWA 大行進（2024年5月11日放送 相模原市）」にも出演し、大学での楽しい学びをアピールした。
<b>「縁 JOY ～ここで出会えた縁 と喜び～」</b> (生活デザイン学科)	【縁 JOY～ここで出会えた縁と喜び～】をテーマに以下の活動を行い、地域社会の取り組みにデザインで貢献した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 梅酒【翠想】の相模原市制施行70周年を記念した特別ラベルをデザインした。</li> <li>②【おーのじかん】(相模大野まちなか手づくり体験工房)のキャラクターデザインコンテストに参加し、3名の作品が選ばれ、「アートクラフト市」のパンフレットに起用された。</li> <li>③【神奈中観光株式会社】のバス運転士、運転指導員、バスガイドの班長バッジのデザイン依頼を受け、県花のユリがあしらわれた2年生のデザインが採用された。</li> <li>④【リハビリストホーム上溝】(医療法人社団カワサキ)のホームページのデザイン公募への参加依頼を受け、トップ画面、メインビジュアルのイラストを手掛け採用に至った。</li> </ul>